

記入日 2020 年 11 月 15 日

一般社団法人日本薬学生連盟

2021 年度支部長立候補申請書

立候補者氏名	小阪怜二
立候補する役職	九州支部長
大学/学部/学科	崇城大学薬学部薬学科
学年	3年生
所属	九州支部、公衆衛生委員会、交換留学委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2019年 九州支部本部所属 2020年 九州 SEP 副 LEO 2020年 公衆衛生委員会所属
立候補動機	僕自身のステップアップのためにしてみたいという思いと、前任の鹿児島さんからの推薦もあり九州支部長に立候補しました。
問題点と改善案	1. 会員にはなっているけれど実際にイベントに参加する人が少ない。 支部本部だけの考えではなく、会員の意見も多く取り入れたイベントを作ることで少しは改善されると思っています。例えば九州の会員で参加していない人の多くは高学年の人たちなので、薬剤師さんと関わるイベントを増やしてみたりすることで改善できると思います。 2. 所属する大学の偏りが大きく交流が狭い。 薬学生連盟以外のイベントにも積極的に参加することで関係を築き、より多くの薬学生と関わることができると思います。
活動計画	4-5月 新歓 7-9月 災害医療(オフラインかオンライン) 10月 薬フェス 12月 WS(オフラインかオンライン) 1-2月 SEP 3月 年会
所信	私は人と話すことが好きです。この薬蓮に入り色々なイベント参加することで多くの人と出会えました。特に今年はコロナの影響もあり多くのイベントがオンラインで開催され、例年以上に参加することができました。それらのイベントを通じて同じ学生がイベントの進行をしたり、堂々と話をしたりしている姿を見て自分もこんな風になりたい、自分を変えたいと思い立候補しました。そしてこのように自分を変えるきっかけを作ってくれた薬蓮の長所は大学内に留まらず日本や世界の人と交流を持つことだと思います。先ほども述べたように色々なイベントに参加することで沢山の人の出会うことができました。しかしその中で自分の地域から出るのは不安で他の地域のイベントに参加したことがないという人にも出会ってきました。私はそれがもったいないことだと感じています。せっかくつながる機会があるなら色々な人に出会ってほしいと思うからです。だから日本の端っこに住む私自身が実際に色々な地域のイベントに参加することで、率先して地元だけに留まらない薬蓮にしたいです。そうすることでもっと沢山の人が全国のイベントに参加するようになり薬蓮が今よりもっと活気溢れる団体になると思っています。このように薬蓮で活動する人がより多くの人が出会い刺激され成長できるような団体になるように貢献できたらと思います。